

農作業コツのコツ

【第7号】

令和5年6月3日
福光農業改良協議会
砺波農林振興センター南砺班
福光農業協同組合 営農部

とみちから・五百万石

中干しを行っていない場合は早急に実施しましょう。

中生・晩生・直播

浅水管理や軽い田干しで稲体を健全化し、溝切りを行いましょ。

水稻の生育は概ね順調で、とみちからは茎数が多く、平年より3日程度早くなっています。一部では深水等で徒長気味で分けつの発生が少ないほ場も見られます。今後は、生育状況や品種に応じた適切な水管理（**浅水**、溝切り・**中干し**）で稲体の健全化を図りましょう。

水稻・移植

生育状況

(5月30日:福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名	田植日		草丈 (cm)		株当たり茎数(本)		葉齢 (葉)		葉色		
	R5	平年	R5	平年	R5	平年	R5	平年	R5	平年	
とみちから	5/ 1	5/ 3	32.5	29.4	16.3	10.5	7.4	6.9	4.5	4.3	
五百万石	5/ 6	5/ 3	21.9	25.1	9.6	8.7	6.8	7.3	4.4	4.4	
てんたかく81	5/ 4	5/ 2	26.6	26.2	10.0	9.6	6.9	6.5	4.3	4.1	
コシヒカリ	5/13	5/14	26.1	26.1	6.2	6.0	5.3	5.3	4.1	4.1	
てんこもり	5/12	5/ 9	22.4	23.6	6.1	8.1	5.4	6.2	4.2	4.4	
密苗	てんたかく81	5/ 4	5/ 3	20.4	22.3	9.6	11.2	6.1	6.5	4.3	4.2
	コシヒカリ	5/17	5/15	21.3	21.5	5.3	5.5	4.3	4.9	4.0	4.1
	てんこもり	5/ 6	5/ 9	25.5	20.4	8.4	8.2	5.3	5.3	4.4	4.3

※てんたかく81の平年値はR4年の値

(調査筆数:コシヒカリ各3筆、他品種各2筆)

1 とみちから、五百万石

(1) まだ**中干し**を始めていない場合は、早急に行いましょう。

中干しが遅れると・・・

- ・根の活力が低下し、直下根が発達せず、稲体が大きくなる
- ・無効分けつの発生が多くなる ⇒ 収量・品質の低下
- ・梅雨時期と重なり、中干し程度が不十分となる ⇒ 刈取作業に支障

中干しでしっかり根を伸ばし、実りが良い稲体にしましょう。

(2) 中干しは、短期間に強く干しすぎると稲の生育に影響します。数回に分けて徐々に干しあげていきましょう。

粘質田 (水持ちの良いほ場)	長靴が少し沈む程度 田面に強いヒビ
黒ボク・転作跡田 (水持ちの悪いほ場)	田面に弱いヒビ



中干し終了時の目安

ほ場中央部で、くるぶしまで沈む程度(足跡深さ10cm程度)

(3) 中干し後は**間断かん水**を行い、幼穂形成期頃までに足跡の深さが3cm程度となるように田面を硬めましょう。

(4) **溝の手直し**を行い、成熟期まで入水・排水が円滑に行えるようにしましょう。

2 てんたかく81

(1) 中干しは、慣行苗6月9日頃、密苗11日頃から開始しましょう。

※てんたかく81の中干し開始時の目安 茎数19本/株(70株植)

3 コシヒカリ、てんこもり

(1) 中干し開始まで、**浅水管理(3cm)**で分けつの発生を促しましょう。

(2) 藻やワキの発生が見られたら、**田干し**や**水の入れ換え**を行い、稲体の健全化を図りましょう。

(3) 中干しの効果を高め、入水・落水を速やかにするため、必ず**溝切り**をしましょう。

(4) **田植え1か月後までに中干し**を開始しましょう。

水稻・直播

生育状況

(5月26日:福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名		播種日		草丈 (cm)		m当たり茎数(本)		葉齢 (葉)		葉色	
		R5	平年	R5	平年	R5	平年	R5	平年	R5	平年
加パ-	コシヒカリ	4/27	4/30	14.8	18.6	57.5	29.3	4.8	3.6	4.2	4.1
鉄コ	コシヒカリ	5/ 3	4/30	10.3	12.8	27.0	17.7	2.7	2.9	3.9	4.1
	てんこもり	5/ 1	4/30	12.2	10.8	20.5	19.6	3.1	3.5	3.9	4.1

(調査筆数:カルパー1筆、鉄コ各2筆)

- ・ **浅水管理**を徹底し、分けつの発生を促しましょう。
- ・ 中干し開始前に必ず**溝切り**しましょう。
- ・ 1m間の茎数が100本になったら速やかに中干しを開始しましょう。
- ・ 種子塗抹処理のF S剤を施用していない場合は、いもち病や紋枯病防除として6月20日までに**オリブライト 250G**を必ず散布しましょう。

雑草防除 (移植・直播共通)

- ・ 雑草が残っている場合は、雑草の種類や大きさを確認し、遅れずに除草剤を散布しましょう。
※詳しくは『営農とくらし』P54~61参照
- ・ 中干しや葉いもち防除時期と重なることから、水管理(湛水または落水)を考慮し、使用する除草剤を選定しましょう。

大豆

ほ場に長時間雨水が停滞しないよう**額縁排水溝**や**排水口**の**点検**や**手直し**を行い、**排水対策**に努めましょう。

1 播種

- ・ 適切な栽植本数となるよう播種開始時に必ず**種子の落下状況**、**播種深度**(3cm程度)を確認しましょう。

播種時期	目標栽植本数		10a 当たり播種量
	10a 当たり	m 当たり	
5月末~6月上旬	16,000本	13本	4.9kg
6月中旬	18,000本	14~15本	5.5kg

- ・ 基肥量は施肥基準を守り、過剰とならないようにしましょう。
- ・ 作業中は適切な播種量となっているか随時確認を行いましょ。
- ・ 播種後はほ場に水が溜まらないよう**溝を手直し**し、額縁排水溝や排水口に必ず連結しましょう。
- ・ 除草剤は播種後、土が湿った状態で早めに散布しましょう。なお降雨が予想される場合は、降雨後に散布しましょう。

2 雑草対策

難防除雑草「**マルバルコウ(帰化アサガオ類)**」をほ場で見つけたら、**直ぐに抜き取る**か**除草剤(大豆バサグラン液剤)**を散布してください。

播種後日数(本葉数)が進むと、大豆の株元にある雑草に薬剤がかからなくなるため、**早めに散布**しましょう(大豆2葉期以降)。



マルバルコウ(幼植物)

リアルタイムに情報をお伝えするため、電子メールによる情報提供を行っています。右のQRコードから登録画面に進めます。詳細はJA福光までお問い合わせください。

